メリカからやってくるのだが，ヨーロッパなどでひらかれる会議とくらべて，日本にくるにはかなり余分の旅費がかかる．他方，多くの国での外国出張の旅費のわくがせばめられており，かなりの数の参加者に，旅費の補助をしなければならないと心配しており，募金の大部分はこれにあてられるであろう．東京のホテルの宿泊料の高いのも心配の種の一つである．

いずれにしても，これらの苦労に倍するよい影響が日本の天体力学の研究者にもたらされることを信じ，国際シンポジウムの準備が進められている．

学会だより

年会の運営形式について

年会講演数の増加に伴って，パラレルセッション形式による年会運営が工夫できないかという議論が持ち上って以来，理事会では，この問題が機会あるごとに慎重に審議されて来ました．去る8月20日開催の理事会でも，この問題が前理事会からの引き継ぎ事項の一つとして議題となり，活発な意見交換が行われました．

主な意見は，例えば，(イ) 1人1登壇の制限を解除し1講演最小限10分の割当時間を確保することによって，充分な情報交換を可能にするためには，パラレルセッションによる年会運営が望ましい．但し，分野の配置については，慎重な配慮が必要であろう．(ロ) 天文学の発展には，各専門分野間の相互交流は不可欠である．よく練られた講演ならば，必ずしも長い講演時間を必要としない．従って，理想的にはシングルセッションによる年会運営を続けることが望ましい，シングルセッションによる年会運営が現在限界に達しているとは思われない．

この他，年会実施上の問題（特にセメスター最中に複数の会場を確保することは極めて困難）も含めて，いろいろな側面から意見交換が行われましたが，理事会として統一判断に到達することが出来ませんでした．

そこで差し当り，来春の年会は，1講演あたり7分間の割当時間を確保するという条件で，従来通りシングルセッションを採用することに決定しました．但し，講演数が多くてこの条件を満すことが困難な場合には，会期が4日半ないしは5日間に引き伸ばされることも止むを得ないと判断しました．

以上，表記の件について，8月20日の理事会での審議経過をかいつまんで御報告致しましたが，この問題の検討は引き続き行われる予定です．会員各位におかれましては，建設的な御意見を各支部理事に寄せられるようお願いします．特に，上記形式による来春の年会運営に当っては，会員各位の御理解と御協力を願って止みません．

（庶務理事）

野尻抱影
星アラベスク
星を愛し、星の魅力を語りつづけた著者が、とっておきのエピソードとともに綴る星空の歳時記。950円

藤井旭
星の旅
望遠鏡とカメラを肩に、星空を見上げて歩いた世界の旅。異国の空に出会った星と人との語らい。980円

新版
天文学への招待
村山定男 藤井旭 著
¥980

星座への招待
村山定男 藤井旭 著
¥980

'78 星日記
10月末刊

'78 アストロ・カレンダー
10月末刊

〒162 東京都新宿区住吉町95 振替・0-10802 電話(03)355-5311代 河出書房新社